

報道解禁

5月29日(月)
市長記者会見終了後

「令和4年度 部局マネジメント方針」の成果報告及び 「令和5年度 部局マネジメント方針」の公表について

このたび、令和4年度 部局マネジメント方針の成果報告及び令和5年度 部局マネジメント方針をまとめましたので、お知らせします。

部局マネジメント方針は、市長と各部局長が政策協議を行い、部局の重点項目や課題への対応方針、年度内に達成すべき具体的な取組内容を定めるものです。

成果を重視した効率的な行政運営を推進することを目的としており、年度の当初に作成・公表し、年度終了後に、その達成度を評価・公表することとしています。

令和4年度の実績は、総項目数185のうち、127項目について達成しました。また、令和5年度方針では、各部局における「基本方針」、「組織目標」、「行動目標」を具体的にまとめました。

詳細は、「令和4年度 部局マネジメント方針 成果報告書」及び「令和5年度 部局マネジメント方針」のデータ資料をご覧ください。

なお、市ホームページに掲載するほか、「令和5年度 部局マネジメント方針」については、6月16日から7月31日まで行政チャンネル「ふくチャンネル」でもご覧いただけます。

<対象部局>

都市戦略部、総務部、財政部、市民生活部、福祉部、保健衛生部、商工労働部、農林水産部、建設部、工事・会計管理部、危機管理監、消防局、企業局、教育委員会

- 5月29日の市長記者会見で公表しますが、資料が多いため、事前にデータを提供します。
- 各事業の詳細については、各担当部所属へお問い合わせ願います。その際、総合政策課から事前に資料データの提供があった旨をお伝えください。

【市広報媒体への掲載 ※○印】

広報紙	○	HP	○	LINE		face book		インスタ		Twitter
-----	---	----	---	------	--	-----------	--	------	--	---------

【一斉 FAX】



令和4年度 部局マネジメント方針 成果報告書について

<概要>

令和4年度部局マネジメント方針で取り組んだ行動目標185項目のうち、達成できたのは127項目でした。その達成度は68.6%であり、令和3年度の65.3%と比較すると3.3ポイント上回りました。

<成果を上げられた主なもの>

- 福祉部では、
 - ✓ 「1 複雑化・複合化する福祉課題に対する包括的な支援体制の構築」において、令和5年度からの重層的支援体制整備事業の本格実施に向け、「包括的相談支援」、「参加支援」、「地域づくり」の体制整備を進めることができたなど、10項目で目標を達成しました。
- 保健衛生部では、
 - ✓ 「7 新型コロナウイルスワクチン接種の推進」において、「ワクチンしナイト」や「まちなかdeワクチン」を実施し、若年層や働く世代にも接種しやすい環境づくりを進めた結果、7月半ばには3回目接種の接種率が70%を超えるなど、3項目で目標を達成しました。
- 農林水産部では、
 - ✓ 「10 道の駅「一乗谷あさくら水の駅」の利用促進」において、「ほたるdeカジュアルフレンチ」など新規事業を含めた利用促進イベントを多彩に開催したことに加え、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和と県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館の開館の相乗効果により目標を大きく上回るなど、14項目で目標を達成しました。
- 教育委員会では、
 - ✓ 「5 ICTを活用した教育の推進」において、GIGAスクール構想によるタブレット端末を学校教育活動に活用できるよう、クラウドの整備や改善の増強、アプリケーションの導入、フィルタリングの管理に加え、教職員用タブレットの整備を進めるなど、17項目で目標を達成しました。

<成果が上げられなかったも主なもの>

- 都市戦略部では、
 - ✓ 「2 中心市街地の賑わい創出」において、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント等が中止や延期となったことで、ハピリンの入込客数及び来場者数が目標未達となるなど、5項目で目標を達成することができませんでした。
- 商工労働部では、
 - ✓ 「10 観光資源の磨き上げ」において、新型コロナ感染症の行動制限の緩和に伴う観光需要の回復に合わせて、観光地の魅力を高める取組として、新たな体験型観光メニューの造成や宿泊事業者への支援などを実施しましたが、消費額の高い宿泊を伴う県外観光客の入込数が伸びず、市内観光消費額について目標未達となるなど、10項目で目標を達成することができませんでした。
- 建設部では、
 - ✓ 「10 安全・安心な公園利用の促進」において、社会情勢の変化による影響で、足羽山公園の橋梁更新工事の資材供給に不足が生じ、資材調達が遅れたことで年度内完成ができなかったなど、6項目で目標を達成することができませんでした。

令和5年度 部局マネジメント方針について

<概要>

令和5年度 部局マネジメント方針については、前年度達成できなかった項目の要因をしっかりと分析し、課題解決を図った上で、引き続き目標達成に努めます。

数値指標は、より高い成果を目指し、行動目標は、189項目を定めました。

<主な内容>

- 都市戦略部では、
 - ✓ 「9 二次交通の充実と利用促進」において、北陸新幹線福井開業に向け、ハピラインを含めた鉄道・バスが連携した企画、まちなかを走る「すまいるバス」のEV(電気自動車)化など、人と環境にやさしい公共交通の利用促進に取り組みます。
 - ✓ 「10 ICTを活用した交通利便性の向上」において、市民や観光客が公共交通を利用しやすい環境づくりのため、Ma a Sの本格導入や路線バスへの交通系ICカードの導入支援など、ICTを活用した利便性の向上に取り組みます。
- 総務部では、
 - ✓ 「14 持続可能な地域コミュニティ機能の保持、活性化」において、自治会の機能保持や活性化を図るため、自治会連合会と協働し、未加入世帯に向けて加入啓発に取り組むとともに、自治会のDXなどによる負担軽減、合併の推進などに取り組みます。
 - ✓ 「15 首都圏等に向けての戦略的な情報発信の推進」において、北陸新幹線福井開業時に最大の効果が出るよう、首都圏等へ積極的に情報発信を行い、本市の認知度向上やイメージアップを図ります。プロモーションの旗印であるイメージロゴ「福いいネ！」を活用し、市民や民間等と一体となって、あらゆる機会を通じて福井の魅力を発信していきます。
- 財政部では、
 - ✓ 「3 入札契約制度の改善」において、入札参加者の負担軽減や利便性向上、事務効率化を図るため、自治体DXを推進するとともに、入札契約に係る手続き及びその運用の改善を進めます。そのため、電子契約クラウドサービスを利用し、工事請負等における電子契約の普及拡大に努めます。
 - ✓ 「4 市税に関する周知啓発」において、市税に対する正しい知識と理解を深めるため、小中学生や近い将来社会を担う高校生・大学生をはじめ、企業や市民グループなどすべての年齢層に向けて、出前講座など啓発活動に取り組みます。
- 市民生活部では、
 - ✓ 「1 マイナンバーカードを使用したコンビニ交付サービスの利用促進」において、市民の多様なニーズへの対応や、窓口業務の混雑緩和を図るため、証明書のコンビニ交付サービスの利用を促進します。
 - ✓ 「9 新ごみ処理施設整備事業」において、安定したごみ処理を継続するため、令和4年度に行った施設の実施設設計を基に、新ごみ処理施設の建設工事に着手します。

- 福祉部では、
 - ✓ 「1 複雑化・複合化する福祉課題に対する包括的な支援体制の充実」において、地域共生社会の実現に向けて、「8050問題」など複雑化・複合化する福祉課題に対応できるよう、重層的支援体制整備事業を実施し、包括的な支援体制の充実に努めます。引き続き、相談先がわからない相談や分野をまたぐ相談を包括的に受け止め、多機関が協働して必要な支援を行うとともに、アウトリーチを強化します。
 - ✓ 「2 こども家庭センター設置に向けた体制整備」において、一人ひとりの子どもや家庭にあったサポートができるよう、児童福祉法の改正をふまえ、児童福祉と母子保健の一体的な支援を行う「こども家庭センター」の体制整備を進めます。
- 保健衛生部では、
 - ✓ 「1 予防計画の策定」において、新型コロナウイルス感染症に関するこれまでの取組を踏まえ、感染症の感染拡大の際の保健所体制、検査体制及び感染拡大に備えた人材の育成などを定めた「予防計画」を策定します。
 - ✓ 「4 第3次福井市健康増進計画の策定」において、市民の健康づくり推進のため、学識経験者及び地域・保健・医療・教育・職域などの関係機関で構成する健康づくり推進協議会で、第2次健康増進計画「健康ふくふくプラン21」の最終評価を行い、第3次健康増進計画を策定します。
 - ✓ 「7 難病患者及び小児慢性特定疾病児童への療養生活の支援」において、患者や家族等の療養上の不安軽減を図るとともに、適切な在宅療養支援を行うため、医師等の専門職に相談できる機会を設けるとともに、新規申請時に保健師等が療養状況を把握し、必要な情報を提供するための面接相談を行います。
- 商工労働部では、
 - ✓ 「11 国内外に向けた積極的なプロモーションの実施」において、北陸新幹線福井開業に向け、首都圏等や新幹線沿線都市等での出向宣伝やイベント等を実施し、積極的な観光プロモーションを行います。また、嶺北エリアの観光情報を集約した観光ポータルサイト「福いろ」やインスタグラムなど、多様な媒体を活用し、国内外に向けた効果的な情報発信を行います。
 - ✓ 「12 オール福井でのおもてなしの充実」において、北陸新幹線福井開業に合わせて福井市観光交流センター内に開設する「ふくい観光案内所」を、幸福(しあわせ)なふるさとを感じさせる空間とするとともに、県内各地の魅力が詰まった福井観光の情報発信基地とするための準備を本格化します。
- 農林水産部では、
 - ✓ 「4 流通販路の拡大・開拓」において、大都市圏等でのPR・販売イベントやECサイトの活用のほか、新たに、海外市場におけるライブコマースや現地飲食店でのフェアにも取り組むなど、効果的な情報発信に努めるとともに、北陸新幹線福井開業の好機を生かせるよう販路拡大・開拓を進めます。
 - ✓ 「10 道の駅「一乗谷あさくら水の駅」の利用促進」において、積極的な情報発信により施設のPRを行うとともに、季節に応じた魅力あるイベントの開催や朝倉義景没後450年を記念した限定企画を実施することで、施設の利用促進を図ります。また、北陸新幹線福井開業を見据え、地元特産品など様々な資源を活用し、県内外客の利用満足度向上に向けて取り組みます。
- 建設部では、
 - ✓ 「3 「福井城址公園」内の中央公園利活用の推進」において、福井城址を中心に、歴史を感じ、人が集まる空間として整備された中央公園を、市民の憩いの場

や観光誘客の交流の場として快適に利用していただけるよう、芝生や樹木等の公園施設を適切に管理するとともに、民間のアイデアを積極的に取り入れていきます。また、北陸新幹線福井開業を見据え、様々なイベントをはじめとする多様な利活用が行えるよう、ホームページやSNSなどを通じて情報発信を行います。

- 工事・会計管理部では、
 - ✓ 「1 建設工事の生産性向上・建設業の働き方改革の推進」において、建設業における担い手確保のため、発注者の立場で働き方改革を推進します。また、工事の監督業務を効率化するため、Web会議システムを利用した建設現場の遠隔臨場等の取組を実施します。
- 危機管理監では、
 - ✓ 「1 危機管理体制の見直しに向けた検討」において、想定外の非常時や、全庁的な対応が求められる災害、危機事象が発生した際に、迅速かつ確かな意思決定や命令等の伝達が可能となるよう、危機事象の対象や範囲の捉え方、事前の想定や準備、災害や危機事象が発生した際の具体的対応等、危機管理の在り方について見直します。
- 消防局では、
 - ✓ 「9 消防庁舎の建設及び危険又は劣化設備の更新」において、南消防署建設に係る実施設計業務及び既存庁舎の一部解体改修工事等を行い、新庁舎建設を進めます。さらに、清水南分団本部の新築工事を行います。
 - ✓ 「10 DXの推進」において、マイナポータル等の活用による消防法令における申請・届出等のオンライン化により、市民サービスの向上と効率的な行政運営を図ります。また、風水害等の広域的な災害現場における情報収集や水難救助、山間部における捜索活動にドローンを活用し、市民の安全・安心の向上を図ります。
- 企業局では、
 - ✓ 「11 雨水対策事業の推進」において、近年、頻発化する局地的大雨等による浸水被害の軽減を図るため、浸水常襲地区における浸水対策を推進します。福井市下水道雨水対策基本計画を実行するため、福井市下水道雨水対策実施計画を策定し、具体的対策手法や期間を設定します。
 - ✓ 「15 集落排水処理施設の機能強化・保全の推進」において、今年度、農林水産部から事業移管した集落排水事業について、集落排水処理施設の機能を維持するため、最適整備構想に基づく機能強化事業及び機能保全計画に基づく機能保全事業を実施し、施設全体の長寿命化に取り組みます。
- 教育委員会では、
 - ✓ 「10 中学校運動部活動の充実」において、中学校における部活動の持続的な運営と教員の働き方改革の推進のため、休日部活動の段階的な地域移行に向けて、モデル事業を通じた課題の整理や今後の在り方について、引き続き研究評価に取り組みます。
 - ✓ 「12 学校給食施設の充実」において、子どもたちに安全・安心でおいしい学校給食を将来に渡って安定的に提供していくため、新たな学校給食センターについて、令和6年度からの運営を目指し整備を進めます。
 - ✓ 「24 体育施設の整備」において、スポーツ環境の改善を図るため、既存施設の改修を進めるとともに、競技人口や環境の変化などニーズに応じた体育施設の整備を行っていきます。また、フットボールセンターの12月工事完成に向けて、整備を行っていきます。